

# うつのみや 婦防だより

第75号

発行日 令和5年3月  
編集・発行 宇都宮婦人防火クラブ連合会  
(事務局：宇都宮市消防局予防課内)  
〒320-0014  
宇都宮市大曾2丁目2番21号  
☎028-625-5505

お出かけは マスク戸締り 火の用心



宇都宮婦人防火クラブ連合会結成 50周年記念式典  
令和4年8月26日（金） 宇都宮市文化会館



宇都宮市マスコットキャラクター  
「ミヤリー」

命を守るために  
**住宅用火災警報器の  
設置・維持管理を徹底  
しましょう！**

宇都宮市消防局  
公式ツイッター



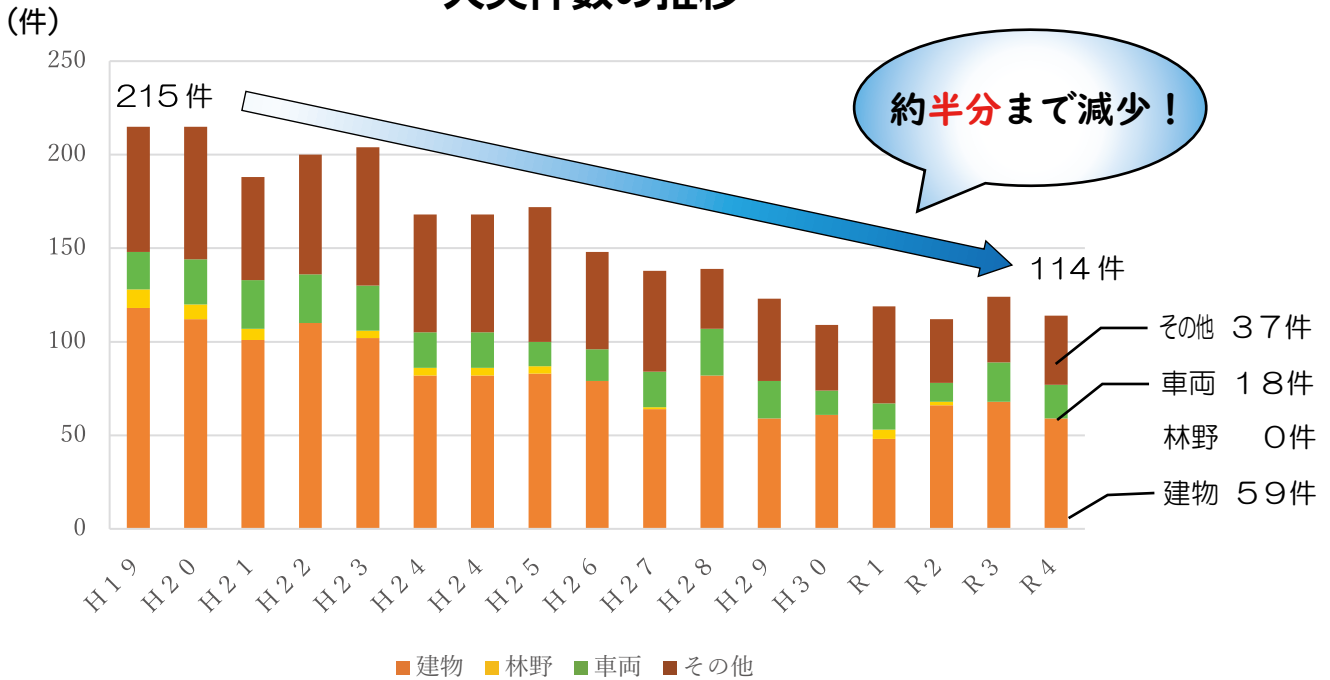
# 令和4年中の火災の状況

## ■火災件数は114件

令和4年中に宇都宮市内で発生した火災は114件で、前年より10件減少しました。

本市での平成19年の火災件数は215件でしたが、現在は当時の火災件数の約半分にまで減少しています。

### 火災件数の推移

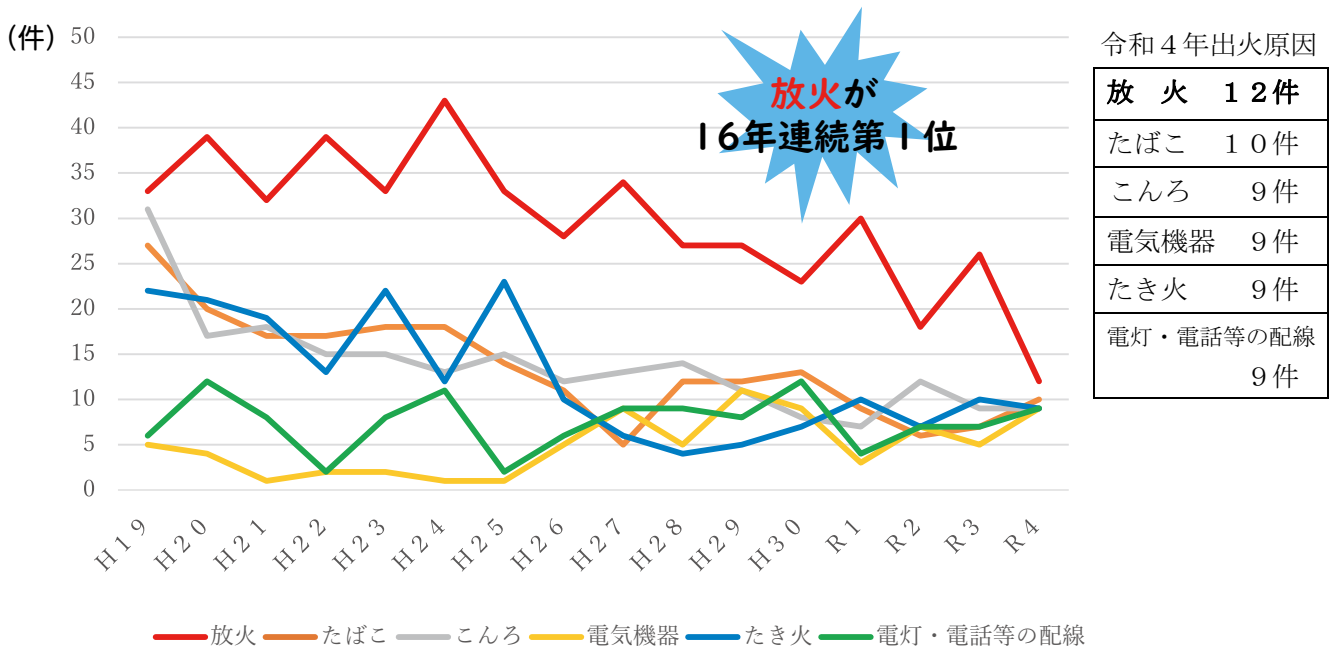


## ■出火原因は放火が第1位

平成19年から出火原因の第1位は「放火」です。

地域ぐるみで“放火防止五か条”を実践し、放火から大切な命や財産を守りましょう。

### 主な出火原因件数の推移



## ◎放火防止五か条を実践しましょう！

- ①家の周りには、燃えやすいものを置かないようにしましょう。  
(ごみは、指定された日の朝に出しましょう)



- ②夜間、建物の周囲や駐車場は照明を点灯して明るくしましょう。  
(死角をなくしましょう)



- ③物置、車庫にはカギをかけましょう。  
(戸締りは忘れずにしましょう)



- ④車やバイクなどのボディカバーは、燃えにくいものを使いましょう。  
(防災製品を使いましょう)

車やバイクには  
防災製品の  
ボディカバー  
を使う



- ⑤地域ぐるみで放火防止に、取り組みましょう。  
(防火の見回りをしましょう)



## 🌸 ごみ処理の過程でも火災が発生しています

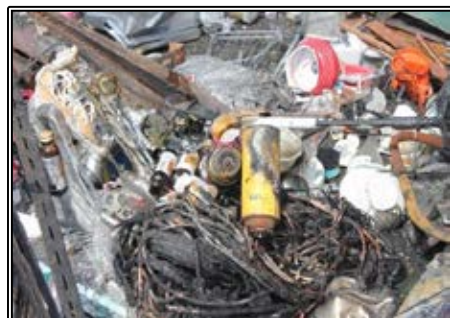
### ■ライターやスプレー缶、電池などの“ごみ”が火災の原因に！



ごみ処理施設での火災



ごみ収集車での火災



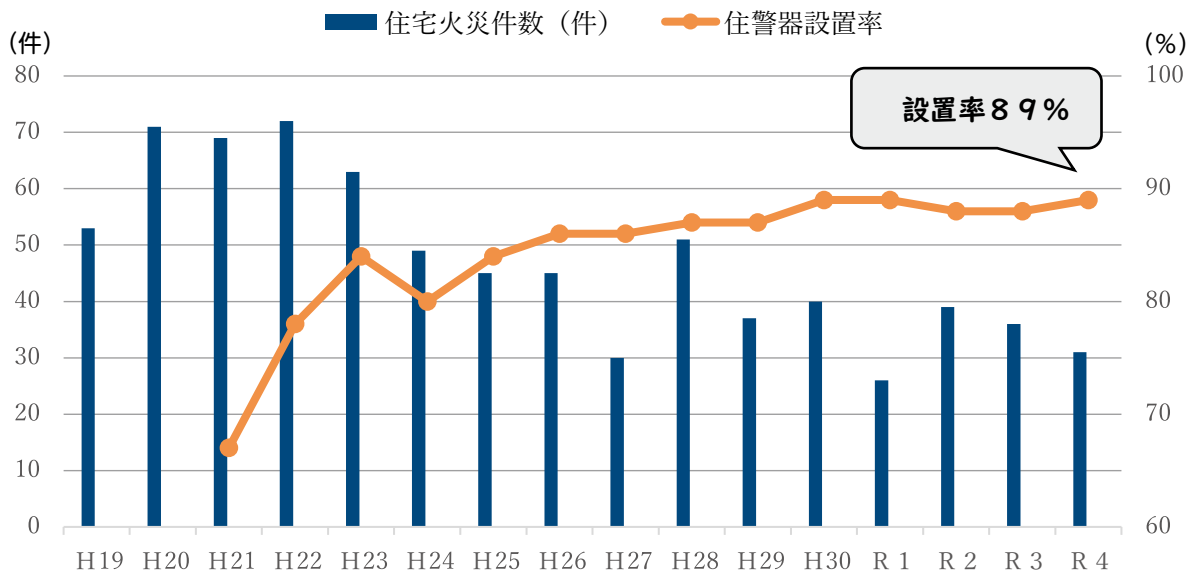
ライターやスプレー缶、電池などは、焼却ごみや不燃ごみに混入すると、ごみ処理の過程で出火する可能性があります。ご家庭で適正な分別処理の徹底をお願いします。

# 住宅用火災警報器の設置による効果

## ■設置率向上で住宅火災件数が減少

宇都宮市内の住宅用火災警報器設置率と住宅火災件数の関係をグラフにまとめると、以下のとおりとなりました。

住宅火災件数と住宅用火災警報器設置率の関係

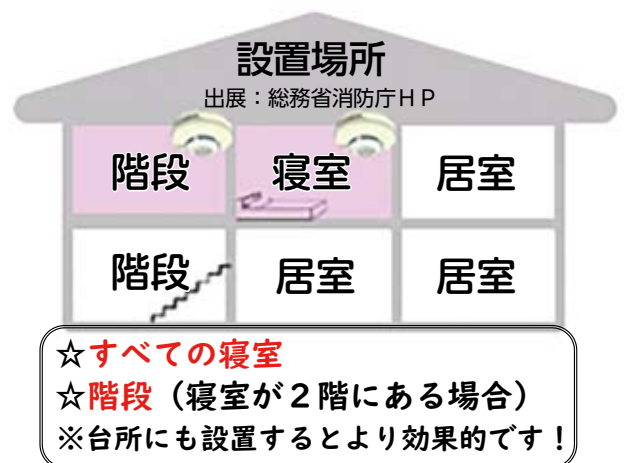
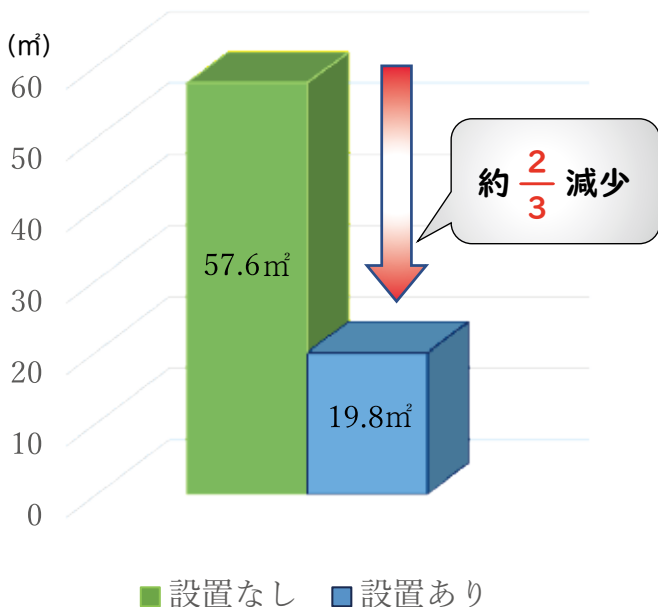


## ■住宅の焼損による被害が減少

宇都宮市内で発生した住宅火災の被害を住宅用火災警報器の「設置あり」と「設置なし」の場合で比較すると以下のとおりとなりました。焼損面積は大きく減少しています。

焼損面積の比較

(過去10年間の平均値)



### 奏功事例

家族5人が在宅中に1階寝室から出火し、家族全員が住宅用火災警報器の警報音に気づき、水バケツで消火することができた。



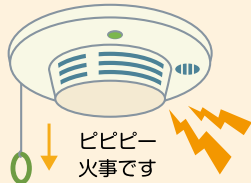
# 住宅用火災警報器を取り付けた そ・の・あ・と・は…

## ■定期点検をしてみましょう

点検  
1

### 定期的に 作動点検をしましょう

本体から下がっている引きひもを引く、あるいはボタンを押すなどにより、定期的に作動点検をしましょう。



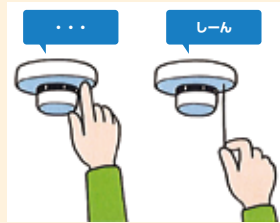
### ◆正常な場合は？

正常を知らせるメッセージまたは、警報音が鳴ります。



### ◆音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、確認してください。



※警報音は、メーカーや製品によって異なります。

点検  
2

### 住宅用火災警報器が よごれていたら

ホコリなどがつくと、火災を感知しにくくなります。定期的に乾いた布でふき取りましょう。



### ◆汚れた時のお手入れの仕方

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用や、水洗いは絶対にしないでください。

点検  
3

### 電池交換を忘れずに

電池が切れそうになった時、音や光で知らせてくれる機能を有しています。忘れず、電池交換を行いましょう。

※電池寿命は、メーカーや機種によって異なります。なお、最新機種の多くは、電池寿命10年（通常の使用状態）です。また、本体も、センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。詳しくは取扱説明書を確認してください。



# 令和4年度 宇都宮婦人防火クラブ連合会事業報告

## ■ 総 会 令和4年5月13日（金）

宇都宮市長、栃木県消防防災課長ご臨席のもと、東消防署で開催されました。

### 【宇都宮婦人防火クラブ連合会 四役】

会 長 岡田 好枝（横 川）

副会長 山口 佳代（姿 川） 副会長 石川 敏子（宮の原）

会 計 原 玲子（ 錦 ） 会 計 塚田せつ子（昭 和）

書 記 松本 友子（築 瀬） 書 記 佐藤 幸子（今 泉）

監 事 磯田ゆたか（陽 南） 監 事 尾島 高子（陽 東）

顧 問 蕪木 カツイ（前会長・泉が丘）



なお、退任された地区会長には、感謝状が贈られました。

蕪木カツイ 様（泉が丘） 古内まり子 様（五代若松原）  
田原 洋子 様（御 幸） 山形 充 様（明 保）  
飯村 敬子 様（上河内）

■ **役員視察研修** 令和4年6月27日（月）

防火・防災意識の高揚と連合会役員相互の親睦を目的に、市内ごみ焼却施設「クリーンセンター下田原」を視察しました。ごみ焼却の仕組みや処理工程の見学、ごみ分別の講習を通して、家庭ごみに潜む火災危険を学びました。



■ **宇都宮婦人防火クラブ連合会結成50周年記念式典**

令和4年8月26日（金）

昭和46年11月に宇都宮婦人防火クラブ連合会が結成されてから、令和3年で結成50周年を迎えることができ、これを記念して宇都宮市文化会館においてクラブ員及び関係者約300名が参加しての式典が盛大に開催されました。



式典では岡田会長が「これからも家庭防火の旗手となり、地域の輪・絆を大切にしながら安心して暮らせるまちづくりに貢献したい」とあいさつし、永年クラブ活動に貢献されている地区会長に感謝状が贈られました。



■ **消防学校一日入校** 令和4年10月8日（土）

楽しみながら防火・防災の知識や技術を習得することを目的として、消防学校一日入校を実施し、婦人防火クラブ員106名が幼年消防クラブの指導者や少年消防クラブ員らとともに、初期消火や応急手当などの実践的な体験と地震や大風等の模擬体験をしました。



■ **消火競技会** 令和4年11月9日（水）

戸祭町の競輪場駐車場において、宇都宮自衛消防協会及び宇都宮危険物保安協会との合同で開催し、各地区の代表者（2名）による消火器を用いた消火技術を競いました。



**【競技結果】**

第1位	横川地区婦人防火クラブ	佐藤三枝子・村田千佳チーム
第2位	昭和地区婦人防火クラブ	塚田せつ子・塚田恵美子チーム
第3位	戸祭地区婦人防火クラブ	高崎荘子・狐塚由佳子チーム
第4位	御幸地区婦人防火クラブ	大浦宏子・三浦好美チーム
第5位	錦地区婦人防火クラブ	菊地みどり・平柳和子チーム



■ **防火広報**

令和4年11月10日（木）～16日（水）

令和5年2月17日（金）～24日（金）

秋季・春季全国火災予防運動の一環として、市内各地区のクラブ員が、広報車で区内を回り、地域住民に火災防止と住宅用火災警報器の設置、維持管理について広報活動を実施しました。



## ■ 防火作品

防火作品は、婦人防火クラブ員が防火に関する標語などの作成を通して防火思想の普及啓発を図ることを目的に募集を行い、今年度は105点の防火標語が応募され、厳正なる審査の結果、下記の20点を入選作品として決定しました。



### 【入 選 作 品】

・ うっせえわ 耳にタコでも 訓練を！	泉が丘地区	蕪 木 カツイ
・ 火の始末 その目で確認 もう一度	泉が丘地区	松 井 由美子
・ 季節ごと 防災バッグ 点検を	河内地区	川 又 教 子
・ 自助 共助 備えあつての助け合い	河内地区	高 橋 恵美子
・ 防災と 思いやりの町 宇都宮	国本地区	三 瓶 陸 子
・ 警報器 電池切れでは 意味がない	桜 地 区	石 川 千 恵
・ 付けたかな 家族を守る 警報器	桜 地 区	中 臣 敦 子
・ 呼び鈴に 応える前に 火を消そう	桜 地 区	半 田 明 美
・ 訓練を 重ねて防火 万全に	昭和地区	塚 田 せつ子
・ ちょっとした ほこりも油断も 火事の元	宝木地区	大 野 佳 子
・ 電池類 正しく分別 火災を防ぐ	宝木地区	富 永 泰 子
・ 危険地区 ハザードマップで 確認し	宝木地区	吉 田 澄 子
・ 急いでも 必ず確認 火の元を	中央地区	入 澤 美弥子
・ 「消えたはず」 再度確認 消えるまで	戸祭地区	上 野 真 弓
・ 消したかな 不安は消そう 確認で	豊郷地区	岡 部 マサ子
・ 宵花火 みんなで確認 火の用心	宮の原地区	小野澤 広 子
・ ガスの火を 点けたらずっと そばにいて	陽東地区	福 田 美智子
・ 火の用心 一期一会で 声かけよう	横川地区	岡 田 好 枝
・ 家周り 片付け安心 放火なし	横川地区	金 澤 久美子
・ 声かけて 確認し合う 防火の輪	横川地区	深 谷 陽 子

## 🌸 婦人防火クラブ員 募集中！！

婦人防火クラブは、火災予防に必要な知識や技術を習得するための活動や防火啓発活動など、高い人員動員力を最大限に発揮し、積極的な防火活動を行っております。

「家庭から火は出さない」「自分たちの地域は自分たちで守る」という固い信念と強い連帯意識の下に、火災や災害に強い安全なまちづくりに向け、より多くの女性の方々に、防火・防災の重要性を認識していただき、婦人防火クラブ活動へ参加していただければ幸いです。



興味のある方は、事務局（消防局予防課：028-625-5505）までご連絡ください。



### 五代・若松原地区婦人婦人防火クラブ

会長 柏 直子

五代・若松原地区は宇都宮市内から南方に約7kmの位置にあり、南消防署が管轄の地区です。また、近くには栃木県総合グラウンドもあり、今年度栃木県で開催された国体のプランターの花植えに協力することができました。

わが地区は、7地区2000世帯あり高齢者が多く住んでおりますが、高齢者がいるからこそありがたいことも沢山あります。小学校と協力して登下校時の見守りや夜の見回り等、常に安全に配慮していただいています。地域ぐるみで子供たちを育てている街です。

婦人防火部は、各自治会から2名ずつ選任された14名と会長1名、副会長2名、会計1名の計18名で活動しています。

毎年行われている「普通救命講習会」は婦人防火部が中心に実施している行事の一つです。10月に行われる予定でしたが、国体開催のため2月に延期となり、今年は「救急講習会」と規模を縮小しました。しかし、皆さんの協力のもと開催することができ、20名が参加してくださり、消防署の方の講話、実技などとても大切な内容でした。また、3月に「防火の日」を設け、防火グッズの展示、消防団の方の消火訓練等を行いました。

新型コロナウイルス感染症のため、多くの活動が縮小されたりしましたが、これからも火災の少ない街を目指していきたいと思えます。

私事ではありますが、今年度会長に任命されて1年が経ち、まだ右も左も分からない私に、皆さんが協力して婦人防火の活動を盛り上げてくださいました。まだまだ不慣れな部分はありますが、これからも皆さんの協力をいただき、事故のない住みやすい五代・若松原地区を目指して行きたいと思っています。



### 築瀬地区婦人防火クラブ

会長 松本 友子

築瀬地区は、JR宇都宮駅西口南側に位置し、近年高層マンションが建ち、駅前周辺は街並みが変わりつつあります。また、平成通りと国道4号線が交わるころには、市の広域避難場所でもある宇都宮市中央卸売市場が有り、災害時に利用する備蓄倉庫が整備されております。

築瀬地区婦人防火クラブは、5支部、約25名のクラブ員が在籍し、活動しています。今年度は連合会主催の行事に積極的に参加したほか、5月に開催されたフェスタmy宇都宮2022にも参加し、住宅用火災警報器についてのアンケートや普及啓発活動を行いました。

地区活動としては、築瀬小学校で秋に行われる霜月祭、地区防災訓練への参加があります。新型コロナウイルスの為、この3年間中止になっておりましたが、今年度は規模を縮小して開催することができました。地域の方々との交流、地区の活性化のため、学校・PTA役員、各団体の方々とともに、婦人防火クラブとして参加させていただき、炊き出しや災害時の対応訓練に取り組みました。また、地域内で年4回実施される「防犯・防火巡回パトロール」にも参加をしています。

令和元年10月12日の台風19号では、市内を流れる田川が氾濫し、地区内も大きな被害を受けました。築瀬地区の多くは、田川の洪水・浸水想定区域の中にあり、「水害」と「災害」の時避難所の開設に違いがありました。この時改めて確認をすることが出来ました。避難所では、段ボールと、一人一人にペットボトル水が支給されていました。

日頃からの備えと「向こう3軒両隣」への声かけを心がけ、災害時には、クラブ員として訓練で身に付けた事をメンバーと共に活かし、地域のために活動してまいりたいと思えます。



※ 次回の寄稿予定は、桜地区と明保地区になります。